

# 若者雇用戦略の概要

平成24年6月12日  
第8回雇用戦略対話合意

## 基本方針

- 『自ら職業人生を切り拓ける骨太な若者への育ちを社会全体で支援  
ー若者を取り込んだ成長（インクルーシブ・グロース）の実現ー』
- 若者が働き続けられる職場環境の実現
- 『対症療法から中長期戦略へ』
  - ・成長戦略を推進し、質の高い雇用を創出することが大前提
  - ・地方での起業等の支援
  - ・リーマンショック後の対症療法から、2020年を見据えた中長期戦略への転換
  - ・「フリーター半減」の確実な達成、キャリア教育の原則初年次からの実施等
- 雇用戦略対話の下に「若者雇用戦略推進協議会」を設け、施策の推進・広報、数値に基づく施策効果の検証等に取り組む

## 機会均等・キャリア教育の充実

- 就学支援による『貧困の連鎖の防止』
  - ・公立高校授業料無償制・高等学校等就学支援金制度の着実な実施、奨学金制度（特に所得連動返済型の無利子奨学金）、授業料等減免制度の推進
  - ・学卒者訓練を受講する高校中退者・中卒者への支援
  - ・サポステ等の協力による進路選択に困難を抱える生徒等に対する支援
  - ・高校（特に定時制・通信制課程）に対する専門家の配置の推進
- キャリア教育の原則初年次からの実施
  - ・職場へ円滑に移行できない場合が多いこと等を踏まえ、各学校において初年次から教育活動の全体を通じて体系的・系統的なキャリア教育を実施
  - ・労働法制、就職支援の仕組み等についての教材の整備、外部人材の活用促進

## ○キャリア教育の充実

- ・キャリア教育に関して、現役の教員の指導力の向上を図るとともに、教員養成課程での内容の充実を促進
- ・「インターンシップ推進に当たっての基本的考え方」の見直し、中小企業に対するノウハウの提供

## ○『地域キャリア教育支援協議会（仮称）』によるキャリア教育支援

- ・学校等の教育機関・産業界・NPO・労働団体・地方自治体・労働局・経産局等の連携により地域に密着したキャリア教育の支援体制を構築
  - 外部専門人材のマッチング
  - インターンシップ・職場体験の紹介・あっせん（特に中小企業の職場体験の場の開拓）
  - 地域住民・NPO・企業・経済団体・労働団体等による出前授業等の教育支援の促進
  - 専修学校を活用した疑似職場体験の機会の提供
- ・『地域キャリア教育支援協議会（仮称）』の設置等の促進のため、教育界・産業界・政府等の関係者で構成される協議会を設置

## ○グローバル人材の育成

※これらの前提として、学校教育全体を通じて、物事を多様な観点から考察する能力（クリティカルシンキング）を含め思考力・判断力・表現力等を育成することが必要。

## 雇用 mismatches 解消

### ○学校とハローワークの完全連結

- ・学校の相談・支援機能とハローワークのマッチング機能の連結
  - ジョブサポーターの全校担当制（学校の就職相談員とジョブサポーターの相対の関係構築によるマッチング）
  - 大学・専修学校内等へのジョブサポーター相談窓口の設置・出張相談の強化
  - 大学内への就職相談員や未就職卒業生の多い高校への就職支援員の継続的な配置支援
- ・ハローワークの全国ネットを活用した広域マッチング体制の強化（地方学生等の就職活動支援）

### ○中小企業就職者の確保・定着支援

- ・『地域中小企業の人材確保・定着支援事業』を拡充し、地域の中小企業団体等が、大学・専修学校・ジョブカフェ等との連携の下、以下の取組等を実施。
  - 地域の経営者による中小企業の魅力等を伝える出前講座、インターンシップのマッチング（「地域キャリア教育支援協議会（仮称）」等との連携により実施）
  - 合同就職説明会
  - 共同研修、仲間づくり、職場に関する相談対応

### ○中小企業とのマッチング支援

- ・若者の採用・育成に積極的な中小企業による「若者応援企業」宣言
- ・ハローワーク・中小企業団体・ジョブカフェ・「地域キャリア教育支援協議会（仮称）」等における中小企業の魅力を伝えるための説明会の開催や情報提供の推進
- ・学生用ジョブ・カードの普及促進を図るため、ジョブ・カードを活用した中小企業への応募促進の仕組みなど先進的取組についてのモデル事業等の実施

### ○積極的な就職関連情報公開による求職活動の効率化

- ・企業：求める人材、採用実績、職業訓練等人材育成の方針等
- ・就職サイト：求める人材と選考基準、採用実績等
- ・大学・専修学校等：学部・分野別の就職実績等

### ○既卒3年新卒扱いの標準化

## キャリア・アップ支援

### ○「フリーター半減」の確実な達成

- ・2020年にフリーターを半減する目標を確実に達成するため、統計を整備し、詳細なデータ分析を行った上で、特に不本意非正規を減らすことができるよう重点的に取り組み、効果を継続的に検証

### ○ステージに応じた伴走型支援の制度化の検討

- ・様々な生活上の困難に直面している者に対する伴走型支援の制度化の検討

- 『全国全ての地域でのサポステのサービス提供』と『アウトリーチ・学校との連携による切れ目のない支援』
  - ・中退者情報の学校とハローワーク・サポステでの共有、在学中からの支援等サポステと学校の連携体制の構築
  - ・アウトリーチ事業の全国展開を目指した拡充
  - ・サポステと連携した公民館等と中心とする支援
  
- 『わかものハローワーク等における、若者向け職業訓練等の一元的管理と最適メニューへの確実な橋渡し』
  - ・わかものハローワーク・支援コーナー・支援窓口の全国展開
  - ・求職者支援訓練について、学卒未就職者訓練の実施や企業実習の設定促進等、若者向け訓練内容の充実
  - ・雇用型訓練や日本版デュアルシステム等の実習を活用した訓練の推進、トライアル雇用の充実
  
- 地域における起業等への支援
  - ・ベンチャーへの支援の強化
  - ・若者や地域の創業等を支援するためのマイクロ金融プラットフォームの構築
  - ・農林漁業者の6次産業化による新たな事業展開の支援
  
- 実践キャリア・アップ戦略の本格展開・対象業種の検討
  
- 産学官の連携強化による実践的な職業教育の充実
  - ・大学・専修学校・高校等による中核的専門人材養成の推進
  
- 大学・専門学校等における社会人の学び直し等のニーズに対応した学習機会の提供
  
- 若者が働き続けられる職場環境の実現、非正規労働者のキャリア・アップ支援
  - ・過重労働による健康障害の防止のための総合対策の推進、労働局の総合労働相談コーナーの体制の充実
  - ・フリーター等の企業内でのキャリア・アップに対する総合的な支援
  - ・企業へのキャリア・コンサルタントの派遣等によって相談を受けられる環境の整備、企業が行う能力開発の重点的支援